
ラドゥが書く恋姫無双

ラドゥ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ラドウが書く恋姫無双

【Nコード】

N1614BA

【作者名】

ラドウ

【あらすじ】

皆さんの恋姫の二次創作がおもしろすぎたので、自分も少し書いてみました。

と、いつても恋姫もプレイした事ないし、三国志もそれほど詳しくはないのですが…。

(前書き)

皆さんの恋姫の二次創作がおもしろすぎたので、ちょっと試し書きしてみました。

ちなみに主人公は『火の国風の国物語』の主人公、アレスの容姿と同じです。

ここは漢王朝の都、洛陽にある袁家の屋敷。

袁家とは後漢時代4代に渡って三公を輩出したこの時代きつての名家であり、この外史ものがたりの主役となるある男は、この屋敷で産声を上げた。

おぎゃあ！おぎゃあ！おぎゃあ！

「奥様おめでとうございます。立派な男の子ですよ！」

その赤子を取り上げた乳母は、その赤子の母親であるこの屋敷の主である妙齡えんせいの女性、『袁成』に取り上げた赤子を見せる。

出産を終えたばかりで疲労の色が浮き出ている彼女は、しかし自らがお腹を痛めて産んだその子供を見ると、その顔一面に笑みを浮かべた。

「ふふふ、いい目をしているな。」

見れば先程まで泣いていたその赤子はすでに泣きやんでおり、袁成の顔を観察するかのようじつと見ていた。

袁成は赤子を乳母から受け取ると、その腕の中に抱きいれる。

その赤い瞳に袁成は天賦の才がある物特有の理知的な輝きを見た。

そして彼女は確信する。「この子は確実に歴史に名を残す存在になる」と…。

「ま！奥様！」

ハッと乳母の声で袁成は我に返る。どうやら先程から呼ばれていたらしい。

「大丈夫ですか奥様？少しぼうつとしていたようですが…。」

「す、すまぬ。少し考えことをな？」

「はあ…。」

「そ、それでどうしたのだ？」

「え、ええ。ぼっちゃまのお名前はどつするのをお聞きしたいのですが？」

「おお、それならもう考えてある。」

袁成は自らの腕の中にいる我が子の顔を覗き込む。

「お前は今日から姓は袁^{えん}。名は伯^{はく}。袁伯だ。よろしく頼むぞ？」

袁成がほほ笑むと赤い瞳のその子供、袁伯は「ダァー！」と片手を袁成にむかって突きだす。

まるで、「まかせろ！」とでもいうように……。。

その様子を見て、袁成はその笑みを深くするのであった。

これが後に『赤の悪魔憑き』と恐れられるようになる武人。袁伯えんはく
李真りしん』の誕生であった。

(後書き)

袁に見せかけて袁ではないかもしれない事実WW

要望があったら続きを書くかも

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1614ba/>

ラドゥが書く恋姫無双

2012年1月4日01時50分発行